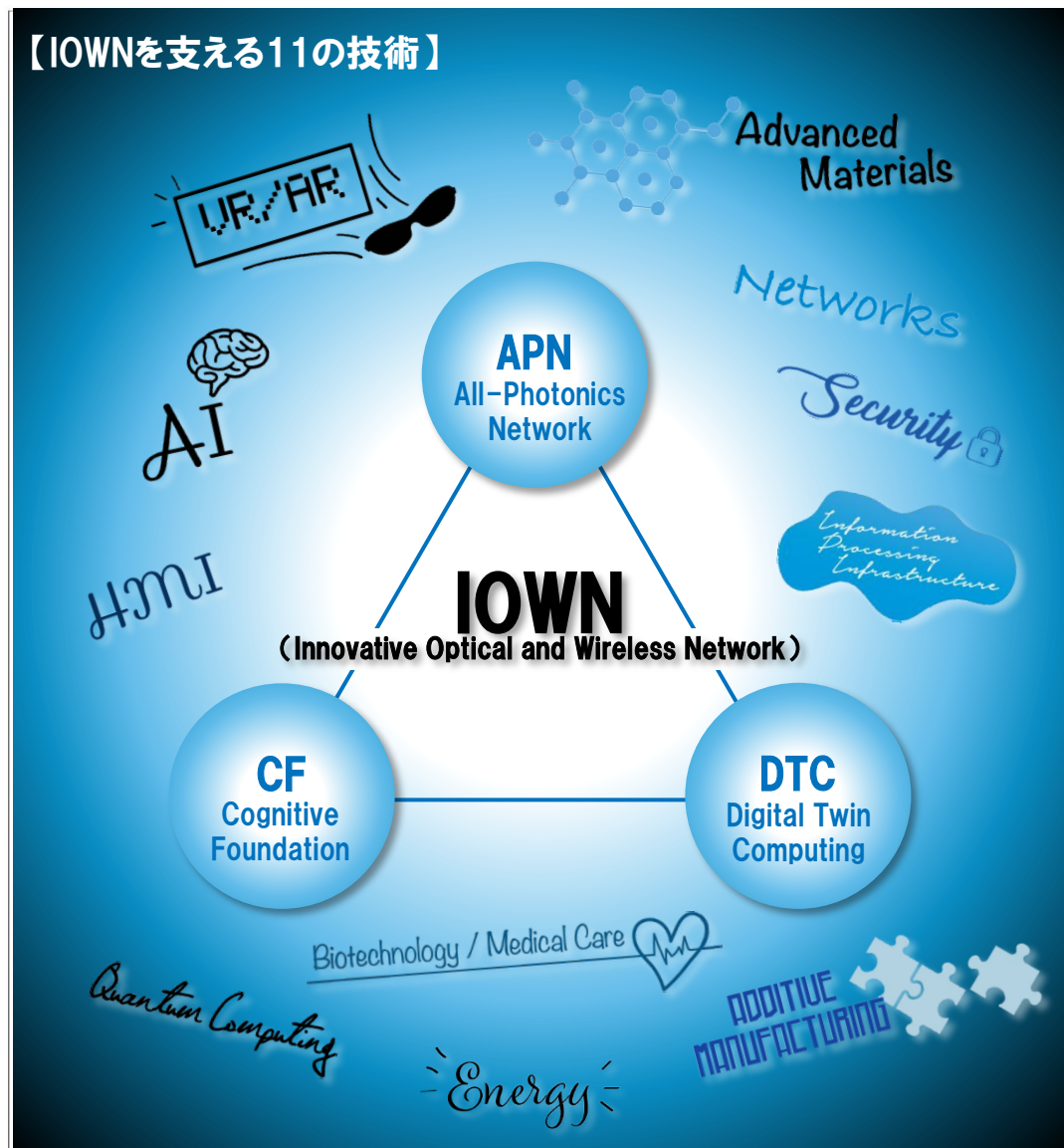


## 【IOWNを支える11の技術】



## 提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

構想/研究段階

- オールフォトニクス・ネットワーク (APN) により、①電力効率100倍、②伝送容量125倍、③遅延1/200のコミュニケーション基盤をめざす。
- コグニティブ・ファウンデーション (CF) により、世界中のさまざまな拠点に散在するICTリソースを連携させるプラットフォームをめざす。
- デジタルツインコンピューティング (DTC) により、デジタル空間上での「再現」を超えて、実世界とのインタラクションを可能にする新たな計算パラダイムをめざす。

## 概要

- 2030年以降のスマートな世界を実現する、最先端の光関連技術および情報処理技術を活用した、未来のコミュニケーション基盤「IOWN」(Innovative Optical and Wireless Network)に関する技術を紹介。
- 今回の展示では、「IOWN」を構成する3要素 (APN/CF/DTC) に関係する11の技術分野の中から、以下2つの分野に関する技術について紹介。
  - ① 時空間を超える新たな体験価値創造に向けた「ヒューマン・マシン・インタフェース」関連技術
  - ② 5Gの先の、さらなる快適な無線サービス実現に向けた「ネットワーク」関連技術

